校日

が

?ある。

本校でも六月

PTAと抱き合わせる形で

施内容は、

第一

回目

は学

な 月 講

いものの、

課題研究発表会

中学生の参加もあり、

関

に比べると授業参観者が少

月

の二回実施した。

した取り

組みに「みんなの登

せて国際教養大学学長などの 究発表会を公開する日に合わ

5

演会を行った。

十一月は六

層の連携と協力の下、

本県教

行った。第二回 各種講演会

目は理数科

研

学校・家庭・

地域社会の

東北大学学長をはじめとす

る

講

(77号に掲載)を

みん

な

の

登

校

日

開二

催回

で今年度県教育委員会が実施 育の充実と発展を図るねらい

論

壇

れ斬殺され、持を通った時に、 小金を持っていた座頭がここの木」だ。この木には「昔、 だろうか。 なった」とのいわれが伝えら 根が伸びて、 れが「座頭小路のいちょう のいちょうの巨木がある。 呼ばれていることをご存知 (旧ニューグランドホテル) なさんは 側の小路が、「座頭小路 保存樹に指定されてい そこには樹齢 昭 持っていた杖か はホテル 和四十九年に秋 大いちょうに 武士にねらわ ル 1 トイ

に関する部会を開き、 請が出された。市では保存樹 指定を解除してほしいとの申 木を切りたいので、 昨 车 所 有者 **の** 部からこ 「解除も 保存樹

> もう少しで市長の決定が るところであった。 止むを得ない」と話し合われ、 下 n

管理してほしいと申し入れたわれのあるこの木を市で保存 所有者の事情もあるので、 うの木を守る会」を結成した。 域の人などと一緒に「い 部会の決定を伝え聞 3 いちょ 11 地

> 中で、市内の内外で、市内の内で、市内では済んで、 0 0 で報告したい ずに済んでいるが、活動 総意でないことがわかり取 過程で、 様々なことが見えてきた 市内の街路樹に関連し 解除申請 いちょうは切ら は所有が 0

発の嵐から市の由緒ある まず保存樹の制度は、 土

緑

地

いちょうの上

NPO法人あきたパートナーシップ



要望書を提出した。 約六千名の署名を集め、 が断られ、 署名運動を展開 署名活 市

理され、巨樹、 請が出されればほとんどが受 目を果たしていない。 かわらず、 を守ろうと定められたにも 所有者から解除申 巨木を守る役

地 いた桜の木が十二本あった。 年、 域の人々が花見を楽しんで JR土崎工場隣接地には、 宅地造成しようとした

> 基本ではないのか りとは、 ざるを得なかった。まちづく に虫がついたら困るとか、子 当者と話し合った。 る町なみを大切にすることが を残すと開発許可を下ろさな したら大変などの理由で、 業者が、 いと言われ、業者は木を切ら が根に足を取られて怪我 して公園にしようと市の 地域住民が愛してい せ めて二本の名木 しかし 桜 を 桜 担

だろうか 当に大切にしてきたと言える きた。しかしその自然を、 は緑豊かな自然に生かされ 採予定となっている。 歓喜寺の ことになっても見直されず、 る秋田中央道路が整備され れて久しいが、 で通る都市計画道路が決定さ さらに、横町から新国道 欅の保存樹七本が伐 お堀の下を通 私たち 本 7 る ま

また、 実際 りました。 芸術家はただ作品を作って るものです。 b るのではないと気づきました。 月を経て、 めに行動することが、 感じました。そして、 て取り組むことなのだと強く 上で重要なのは、 実感できました。 勝る原動力となるのだと知 創造性をつないでいく、 後々まで残り続け 作品は長い長い歳 過去から未来 熱意を持 物事を成

何者に 人のた

താന പ്രത്യായ പ്രത്യായ പ്രത്യായ പ്രത്യായ പ്രത്യായ പ്രത്യായ た次のような生徒の感想も得 三十一日まで羽城 心の高さは感じられた。 して行われた鎌田俊夫先生の れた。 年生の美術選択者を対象と た同氏による作品展と重ね |演会では、七月二日~八月 館で開催さ

る意気込みと熱意です。 目 たのは、 「僕がとても強く印象を受 の前で見ると、 先生の芸術に対す すごさを

> 郷土の環境をよりよくするために ISO14001 認証取得企業

秋田環境測定センタ・

代表取締役

洋 (昭和50年卒)

石田歯科医院

〈診療時間〉 平 日 9:00~12:30 14:00~18:30 土曜日 9:00~13:00

日曜·祭日休診 郎

秋田市南通亀の町 5 **2** 018-832-5 - 5 4 8 2 (昭和49年インターハイ福岡大会男子団体出場) 母校の発展と同窓生の皆様方の ご活躍をお祈りします 清野 尾形 芳明 洋介 進 加藤 利直 丸山 成田 三浦 和也 道彦 佐々木誠治 挽野 公毅 笹本 公明 船木 紀生(主将)

昭和50年卒硬式庭球部一同

伊藤こう子 佐藤由美子 (当時は一面のコートで男女一緒に 同じ部として練習してました)

総合建築業 秋田土建株式会社

成 (昭和50年卒)

本店/北秋田市米内沢字倉の沢出口5-1 TEL 0186-72-300 FAX 0186-72-300 本社/秋田市山王五丁目6-20 TEL 018-823-259 FAX 018-823-259 3 0 0 1 3 0 0 4 6 - 20 2 5 9 7 2 5 9 1

(昭和50年卒)